

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> アイヌ文化講座経費
-------------------	------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	2	文化の保存・継承
小分類	2	アイヌ文化の振興
主要な施策	2	伝統芸能、工芸に触れる機会の充実
事務事業番号	001	事務事業コード 53222001 事業開始年度 平成 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	アイヌ文化講座経費
------	------	------------	-----------

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民
手 段 （ 事 業 の 内 容 ・ 活 動 ）	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) アイヌ刺しゅう、トマ織物等の作成講座を開催する。
目 指 す 姿 （ 成 果 ）	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) アイヌ住民の生活の社会的、経済的向上を図るとともに、市民にアイヌ伝承文化への理解を深めてもらいアイヌ民族の福祉の充実や市民への周知を図る。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単 位	区 分	21年度 実 績	22年度 目 標	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標
成果 指標		人	目標値	160	160	160	160	160
			実績値	166				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	296	296	296	296	296	888
合 計				296	296	296	296	296	888
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	132	139			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		132	139			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である  妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？  アイヌ住民の生活の社会的、経済的向上とアイ ヌ文化保存伝承のための支援が必要である。
2. 事務事業の成果について			
成果があがって いますか？	→	成果があがっている  どちらかといえばあ がっている  成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由は何 ですか？  アイヌ文化を伝承する人材育成も目的とし参 加市民が講座に対し関心を持っており成果は上 がっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる  少し向上させるこ とができる  向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？  講習会の開催日数や参加者数に大きき変動 はないが、参加者の増加を図る工夫が必要であ る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる  削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由は何ですか？  講習会の実施に必要な最小限の経費であり削 減は難しい。

担当グループによる評価

<b>維 持</b>	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	アイヌ住民の生活の社会的、経済的向上と保存文化伝承のため必要である。
------------	----------------------------------	------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維 持</b>	備考
------------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）